

# 秋田版自然公園満喫プロジェクト事業について（新規）

自然保護課

## 1 事業の目的

十和田八幡平国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」の実施箇所を選定され、日本を代表する国立公園として、2020年度までにかけて、外国人来訪者を増やすための公園施設等の整備が集中的に行われることとなっている。

このため、プロジェクトの実施を契機に、本県の国定公園や県立自然公園の魅力を併せて発信するとともに、自然公園のモデルコースを整備することにより、国内外からの来訪者の拡大を図る。

## 2 事業の概要

県内の国立公園や国定公園、県立自然公園を多言語で紹介する「あきた自然公園マップ」を作成する。

・作成部数：外国語表記 12,000部

（中国語、英語と韓国語、タイ語とインドネシア語を各4,000部）

日本語表記 6,000部

※民間に委託

## 3 年度別計画等

事業期間：平成28年度～30年度（3年間）

### （1）平成28年度（9月補正）

多言語表記の「あきた自然公園マップ」の作成

### （2）平成29年度～30年度（予定）

- ① 「自然公園利活用推進協議会」の設置
- ② 自然公園を紹介する映像の制作
- ③ Google Earthを活用した自然公園の情報の発信
- ④ 自然公園モデルコースの整備

## 4 予算額

5,184千円

〔 ④2,592千円（地方創生推進交付金）  
①2,592千円 〕

## 【参 考】

### 「国立公園満喫プロジェクト」の概要について

#### 1 プロジェクトの趣旨

政府が本年3月30日に取りまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、国内の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてのブランド化を図るものである。環境省では、「国立公園満喫プロジェクト」として、32の国立公園の中からまずは8つの国立公園を選定し、今後策定される「国立公園ステップアッププログラム2020」に基づき、2020年までに、外国人利用者数を年間430万人から1,000万人に増やすことを目指している。

#### 2 選定された国立公園

- ① 阿寒国立公園（北海道）
- ② 十和田八幡平国立公園（青森・岩手・秋田県）
- ③ 日光国立公園（福島・栃木・群馬県）
- ④ 伊勢志摩国立公園（三重県）
- ⑤ 大山隠岐国立公園（鳥取・島根・岡山県）
- ⑥ 霧島錦江湾国立公園（宮崎・鹿児島県）
- ⑦ 阿蘇くじゅう国立公園（熊本・大分県）
- ⑧ 慶良間諸島国立公園（沖縄県）

#### 3 今後の予定

十和田八幡平国立公園におけるプロジェクト実施に当たり、国、北東北3県、市町村、民間団体等を構成員とする地域協議会が、9月26日に設立される予定である。

この地域協議会では、重点取組地域における具体的な整備方針等を定めた「ステップアッププログラム」を12月までに策定することとしている。